

社会教育委員 だより



▲第2回社会教育委員会議を8月22日に長谷伝統文化等保存伝習施設（中尾座）で行いました。

TOPIX

- 平成28年 6月15日 長野県社会教育委員連絡協議会総会（長野県総合教育センター）に参加しました。
- 平成28年 7月 7日 諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会（原村中央公民館）に参加しました。
- 平成28年 8月22日 第2回臨時会（長谷伝統文化等保存伝習施設）を開催しました。
（会議後、社会教育委員発！我がまちいいところ10選研修視察3ヶ所）
- 平成28年 9月28日 長野県社会教育研究大会（長野県総合教育センター）に参加しました。
- 平成28年 11月22日 第3回臨時会（伊那公民館研修室）を開催しました。
（会議後、いいところ10選研修視察2ヶ所）



伊那市生涯学習基本理念

——共に学び、今に生かし、更に深め、未来へとつなぐ——

生涯学習関係イベント等参加報告

社会教育委員の取組の1つ、現場へ「足」を運ぶ活動として、生涯学習関係イベントへ参加して、感想や良かった点、問題点や課題等を報告書にまとめ、社会教育委員会議で発表し、委員間での意識共有を図っています。第3回の会議までに90件以上の参加報告がありました。いくつかご紹介します。



○第22回 進徳館の日（高遠城址公園高遠閣）

毎年実施されている進徳館の日。今回その中でも特に音楽教育の祖とも言える、伊澤修二中心のプログラムが生まれ、充実した式典講演会になった。次回は誰に焦点を当て、こうした催しが行われるか楽しみである。高遠町の小中学校に留まることなく、伊那市全ての子どもたちに関わる教育精神の継承となっていってほしい。

○夏休みおいで塾（伊那公民館）

12人のグループで10班に別れ、1～6年までの男女混合の異年令の5人グループで学習する。上級生が下級生を教えたり、下級生が上級生の学習態度を学ぶなど、人間関係を学んでいる。6年生までに、多い児童は6回、3～4回は、おいで塾に参加している。この体験が、中学生、高校生になって、どのように生きているのか知りたい。

○すずたけ祭（東部中学校）

生徒が自分たちで企画をして、活動している姿が見られた。意見発表・生徒会企画をこれからも充実させてほしい。総合的な学習の発表が工夫されていてよかった。1日目に美篤小、手良小、新山小の6年生が招待され、最前列で意見発表を聞いていた。中学校ではどんなことをするのか体験できていいことだと思う。学内には伊那東小、伊那北小もあるので、同じようにさせてあげた方がいい気がする。

○長谷っ子サマースクール

（長谷公民館・常福寺他）

午前は坐禅、夏休みの宿題の時間。恵まれた環境で良い指導者の元で時間を過ごせたと思う。午後は川あそび、工作、プラネタリウム見学、スラックライン体験。学校では味わえない体験をして長谷の良さを知った事と思う。少なくなった子ども達、長谷のこれからの宝。夏休みの機会に長谷の良さを味わい、忘れず帰って来てほしいと思う。

○明治のイラストレーター・デザイナー不折

企画展（伊那市創造館2階企画展示室）

高遠町歴史博物館の不折特別展は、「己を広げ己を高め」と題して、不折の生涯がわかるようになっていた。創造館は視点をかえて不折を捉えています。不折のイラストレーター、デザイナーとして発揮した才能、作品に焦点を合せ、時代の雰囲気わかる構成で楽しい一時だった。明治43年刊行「不折俳画」の中から数点選んだ俳句と画がパネルで紹介されていた。その時代の人なら、句と画の取合せの絶妙さがあると思うが、現代人のためにちょっとした説明文があったら良かったと思う。

○地域ぐるみで子どもを育てるフォーラム

（伊那市生涯学習センター）

パネルディスカッションでは、信州型コミュニティスクールとの関連はそれ程深くなく、従来からの活動を充実・拡大させている。モデル校でも理念とは別に実践の難しさを感じた。下諏訪の北小、社中の取組みのなかで、地域の人が学校に来るのを待つだけでなく、子供たちを地域に戻し、地域活動の運営にも参画させている。

分科会の読み聞かせでは、その前に選ぶ本に心を配ることの大切さ、大人が感動する本を子供に押し付けたり、子供にウケる本を選ぶのではなく、子供に届けたい本を選ぶ。絵本は子供の想像力、創造性を養うもの、読み聞かせは本を読めるだけでなく、相手の気持ちや場の雰囲気を読む力にもなる。絵本選びについて大変参考になった。

我がまちのいいとこ 10 選研修視察

深く掘り下げて見る「目」を持つ活動として、各委員が地元の自然、歴史、文化など見てもらいたい場所を推薦し、現地へ視察に行っています。

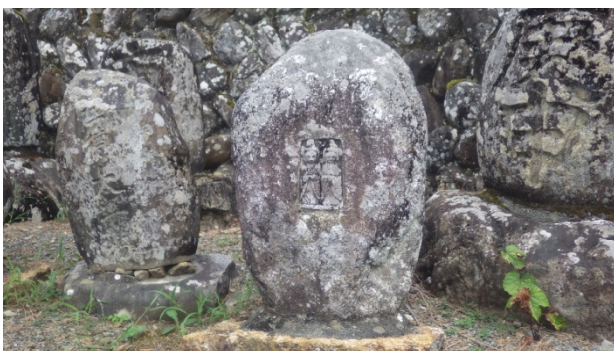
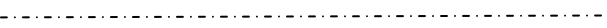
見慣れた景色や建物が、解説を聞きあらためて伊那市の歴史や文化を感じ、学習する機会となっています。



宇津木薬師堂▲、西国三十三観音▼（長谷杉島）



薬師堂のかたわらに西国三十三番の観音菩薩の石造が安置されています。参詣すれば、西国三十三番の札所を巡ったのと同じご利益があるといわれています。伊那市文化財（有形文化財）。



中尾辻の石仏群 ▲（長谷中尾）

球形の道祖神は珍しく、上伊那郡下でもこのほかに2箇所あるだけだといえます。悪病よけ、縁結び、子宝、交通安全の神として信仰されてきました。伊那市文化財（石造文化財）。



老松場の丘古墳公園 ▲（東春近）

東春近住民有志により、東春近東側段丘の森林整備、古墳復元等も計画した活動が始まり、公園作りを手伝った東春近小児童が「前方後円墳」ではないかと疑問をもったことをきっかけに、考古学研究者らによる検証が行われたことなど、推薦者から説明がありました。



除厄山白衣観音堂格天井画 ▲（富県根木谷）

根木谷いきいき交流施設「おかんのんさま」（除厄山観音堂）の格天井画と俳句額は明治27年（1894）お堂の新改築にあたって、近郷近在の住人の厚い信仰により、格天井に絵馬を飾り、同35年に俳句額も奉納されたことを、格天井画総覧を作成された地元の方から説明を受けました。平成27年に改築したときにも室内に、格天井と俳句額が継承されていて歴史を感じます。





伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課 〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地

電話：0265-78-4111（内線 2723） F A X：0265-72-4142

Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせなどはこちらへ

